

森林環境教育セミナーの開催 ～小・中学校、幼稚園の先生を対象に実施～

8月10日(金)に箕面国有林勝尾寺周辺において、箕面市の小・中学校経験2年目の先生や豊中市の小学校の先生、計24名に参加してもらい、京都大阪森林管理事務所とボランティア団体の協力を得ながら、森林環境教育セミナーを開催しました。

森林環境教育セミナーは、学校教育における森林環境教育の推進を目的として、箕面市教育委員会との共催により平成17年度から実施し、今回で8回目の開催となります。

今回のセミナーの内容は、京都教育大学の山下宏文教授による講義「森林環境教育の重要性と進め方」、箕面森林官による箕面国有林の概要説明、間伐体験に加えて、当ふれあいセンターで作成した森林環境教育推奨事例集の中から、間伐に付随した事例として「木の高さを目測する」、「間伐、ナメコの植菌」を実践してもらいました。

セミナーの終わりには一日を振り返ってもらい、参加した先生からは、山下教授の講義を聞いて「子供たちと共有する森林環境教育の視点についてよくわかった」、間伐を体験して「木を切るだけではなく、木を切る方法や方向、安全など、どんな事に木をつけるのかがわかった。」全体としては、「なかなか出来ない体験をすることが出来てよかった。」「間伐、なめこの植菌はとても興味深かった。」「作業をさせてもらい、体で学習することが出来た。」などの感想が聞かれました。

参加した先生からは、今回楽しく体験したことや推奨事例集の楽しい事例を、学校の授業等を通して先生から子どもたちに伝えていただくことを期待するところです。



山下教授による講義



樹高の測定



箕面森林官による国有林説明



ヒノキ丸太にナメコを種菌



ボランティアの指導のもと間伐・枝払いを体験